

みやこはし 京の橋しるべ 第12号

(平成29年12月発行)

熊野橋について

今号では、平成29年3月に老朽化修繕(部分架替え)が完了した熊野橋について紹介します。熊野橋は、大正時代の先進技術を用いて架設され、現在まで供用されてきた全国的にも珍しい構造の橋りょうです。架設当時の構造と隠れた桜の名所として親しまれてきた風景を残しながら、老朽化が進んだ橋の補修・補強工事を行いました。

橋りょう緒元及び工事概要について

熊野橋は、大正12年(1923年)に架設され、夷川ダムたたずの東側にひっそりかつ堂々とした佇まいで、琵琶湖疏水を跨ぐ橋りょうです(左京区聖護院蓮華蔵町市道熊野道 3径間連続RC混合桁橋 橋長22.7m 幅員8.5m)。

私たちが歩いたり、車で通過したりする部分(床版)には、「モニエ式」という鉄筋コンクリートの先駆けの技術が使われています(フランスの植木職人モニエが実用化を計り、セメントの中に鉄筋を入れて補強するアイデアから、橋や建物などの大きな構造物へ応用)。

年齢が卒寿を超えた熊野橋は、工事前の調査で橋を支える橋脚の老朽化が進んでいることがわかりました。そのため、橋脚を鉄筋コンクリートで補強し、車道部分の負担を少なくするために、モニエ式の床版をより軽量の鋼床版**鋼桁**(部材厚さをコンクリートから薄い鋼製に変える)に架替えを行い、歩道部は補修することにより、先人の技術であるモニエ式を残しました。

卒寿：90歳のこと。



モニエ式コンクリート床版



補強鉄筋



架設当時の熊野橋



工事完了後の熊野橋

工事中の様子

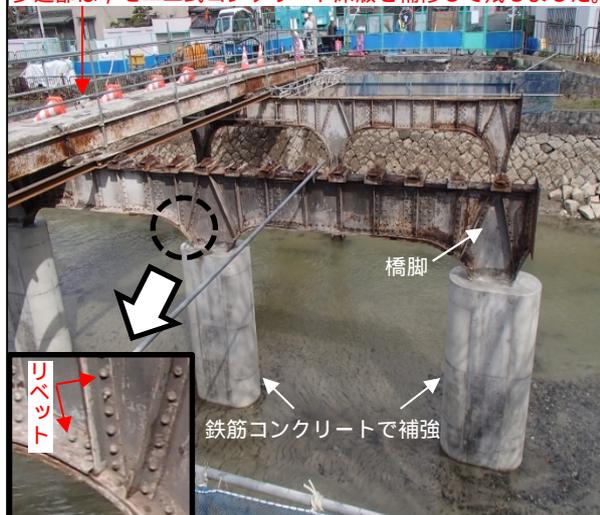
ここからは、熊野橋の工事中の様子を紹介します。

モニエ式コンクリート床版の撤去

右の写真は、車道部を軽量な形式(鋼床版鋳桁)に架替えるため、モニエ式コンクリート床版を撤去している写真です。現場を通行止めにし、奥に据えた100t吊りの大型クレーンにより吊上げて撤去を行いました。民家が近接していたため、慎重に撤去作業を行いました。



歩道部は、モニエ式コンクリート床版を補修して残しました。



老朽化した橋脚の補強

左の写真は、モニエ式コンクリート床版を撤去し、橋脚を鉄筋コンクリートで補強した後の写真です。左側の歩道部は、モニエ式コンクリート床版を補修して残しました。鋼製の橋脚は、架設から90年以上琵琶湖疏水の中に立っていたこともあり、鋼部材の腐食が進行し、老朽化が進んでいたため、鉄筋コンクリートによる補強と塗装塗替えを行いました。(鋼製橋脚の形やリベット 接合に大正の技術を感じます。)

板や部材などを継ぐ場合に用いる部品のひとつ。鉾ともいう。

鋼床版鋳桁の架設から供用開始

左下の写真は、鉄筋コンクリートで補強した橋脚の上に鋼床版鋳桁を架設した写真です。その後、右下の写真のようにアスファルト舗装を行います。鋼床版鋳桁の場合、グースアスファルトという通常より100程度高い材料(240)を敷設します。その熱で鋼部材が急激に伸び、橋へ悪影響を及ぼすため、施工に苦労しました。

工事期間は約1年6か月を要し、地域の皆様には大変ご不便をおかけしましたが、新しい熊野橋へと生まれ変わり新たな歴史を刻み始めました。



京の橋の紹介

戻橋（もどりはし）

場 所：京都市上京区堀川下之町
河 川 名：普通河川 堀川
橋の種類：単純プレテン中空床版橋
橋 長：13.5m
幅 員：11.5m
完 成 年：平成7年（1995年）



戻橋は、一般に「一条戻橋」と呼ばれており昭和27年に鋼桁橋に架け替えられ、平成7年に現在のプレストレスコンクリート橋に架け替えられました。

橋の由来は、延喜18年（918年）に平安中期の文章博士・三善清行が亡くなった時、父の死を聞いた子の浄蔵が紀州熊野から京都に馳せ帰ってみると、その葬列は丁度この橋の上を通過していました。浄蔵は柩にすがって泣き悲しみ、神仏に熱誠をこめて祈願したところ、不思議にも父清行は一時蘇生して父子物語を交したという伝説から戻橋と名付けられたといわれています。

戻橋の「戻る」という言葉をきらい縁談一切は、この橋を避けて行うという風習もありますが、戦争中、生きて戻れるというので、この橋を渡って出征した兵士が多かったそうです。

また、太平記、剣の巻によれば、その頃、源頼光の四天王の一人であった渡辺綱が深夜この橋の東詰で容貌美しい女子にやつした鬼女に出逢ったという伝説もあります。この伝説から歌舞伎「戻橋」が河竹黙阿弥によりつくられました。



大正時代の一条戻橋

京の橋しるべについて

私たち建設局橋りょう健全推進課では、市民の皆様の安心・安全な生活を守るため、京都市が管理する「橋」の耐震補強と老朽化修繕を進めています。

その取組を市民の皆様にもっと知っていただくため、また、私たちの日常生活を支えるかけがえのない「橋」について関心を持ってもらい、身近なものとして親しんでいただくため「京の橋しるべ（みやこのはししるべ）」というリーフレットを定期的に発行し、市民の皆様には「橋」にかかわる様々な情報を発信しています。

「道しるべ」は、道路に目的地までの距離や方向を示し、道案内のために設置されたものですが、「橋しるべ」は私たちの「橋」に関する取組などをわかりやすくお伝えして（案内して）いきたいということで名付けました。

発行・お問い合わせ 京都市建設局橋りょう健全推進課 (TEL 075-222-3561)



ハンフアスタ

京都市では、橋の歴史や補修取組、有名な橋を紹介した冊子「京の橋しるべ」と、道路や公園などの損傷箇所を投筒するアプリ「みっけ隊」を配信しています。

詳しくはWebで！ [京の橋しるべ](#)

検索



& [みっけ隊 募集中](#)

検索

